

平成20年は ^{ぼつご}没後 ^な(亡くなってから) 400年

はしもと いと ^{はってん}の発展に ^{つくした}
お う ^ご

人 上 其 応

一五三七 近江国に生まれる

一五七三 高野山で出家

一五八五 秀吉の高野攻めから高野山を救う

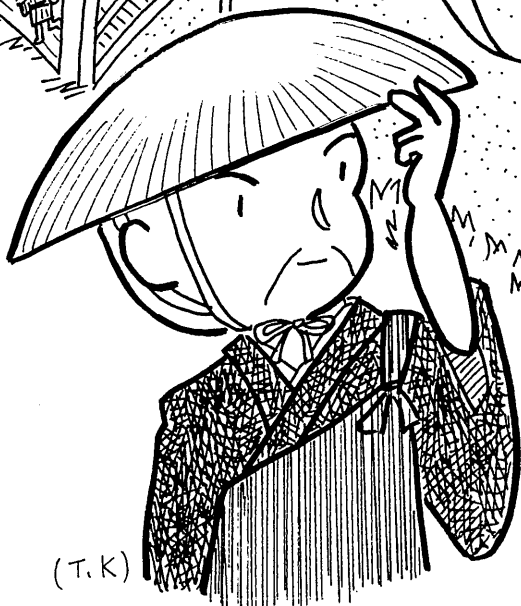
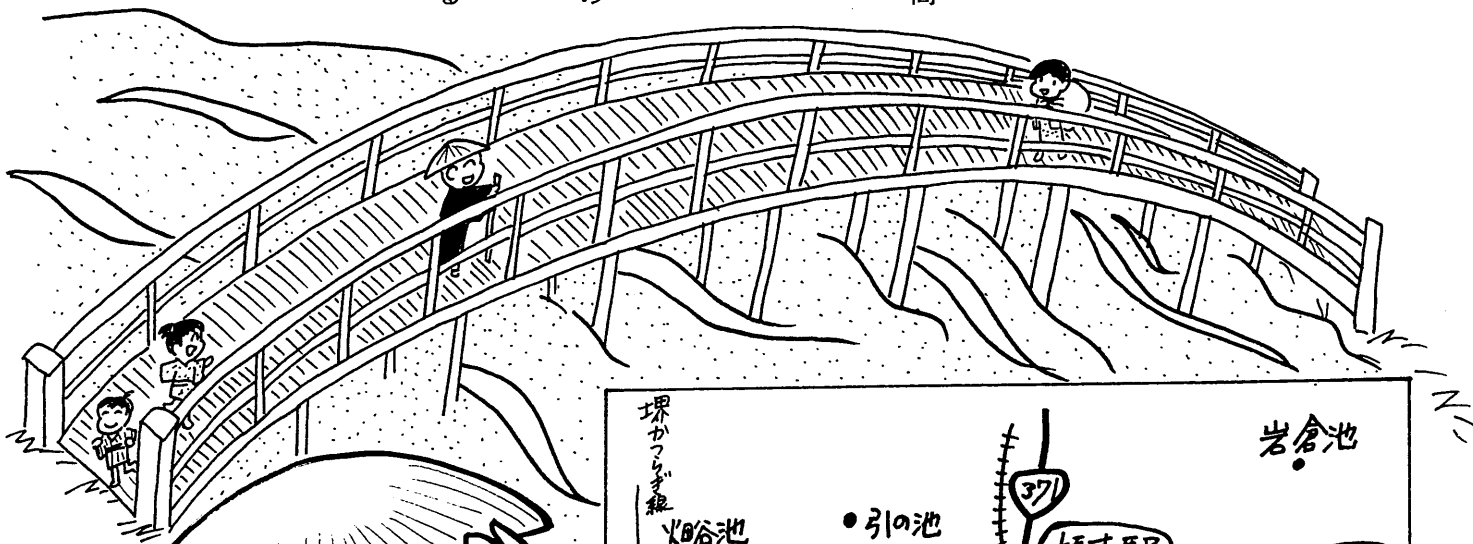
一五八七 応其寺を建てる

紀の川に橋をかける
塩市をひらく

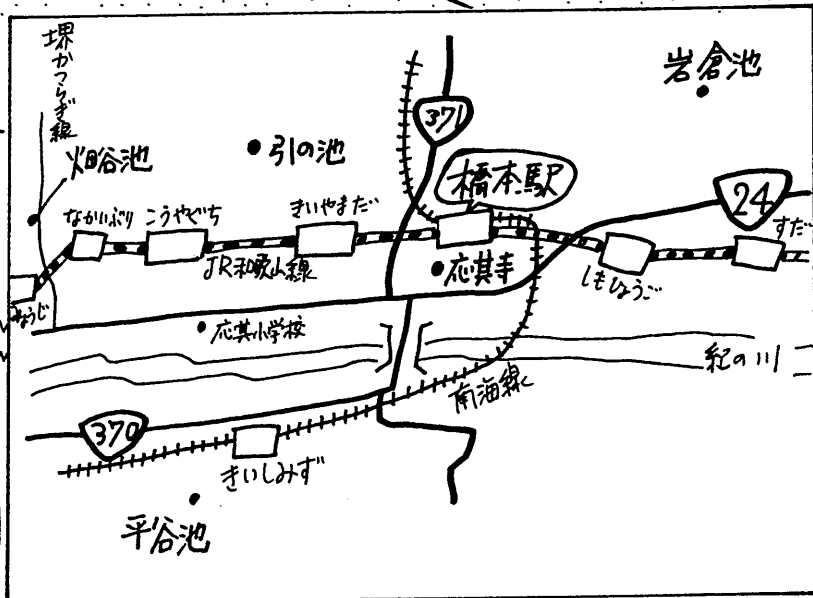
一五九〇 平谷池・岩倉池・引の池を改修する

一六〇一 近江国飯道山にこもる

一六〇八 飯道寺で死去



(T.K)



仕えていた領主を
次々と失った武士がいた。
世のはかなさを知り
出家しようとした。



一五七三年 三十七才で
出家したその人は
日斎房良順と名のり
後に 応其と名のる。
苦行を積み十三、三年で高位にく。

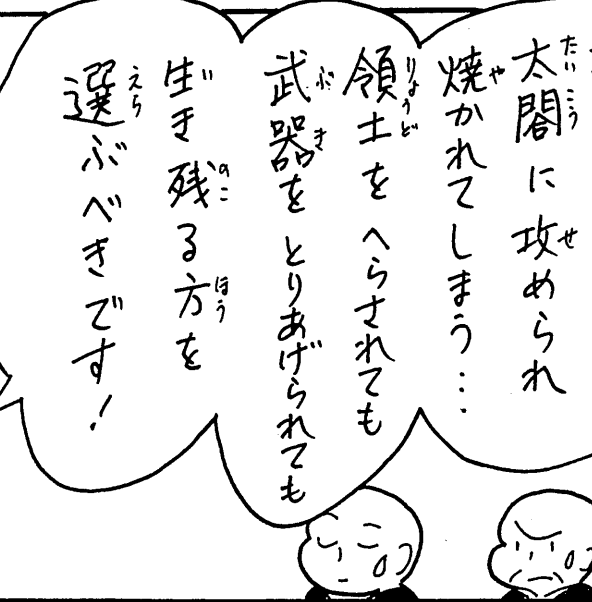


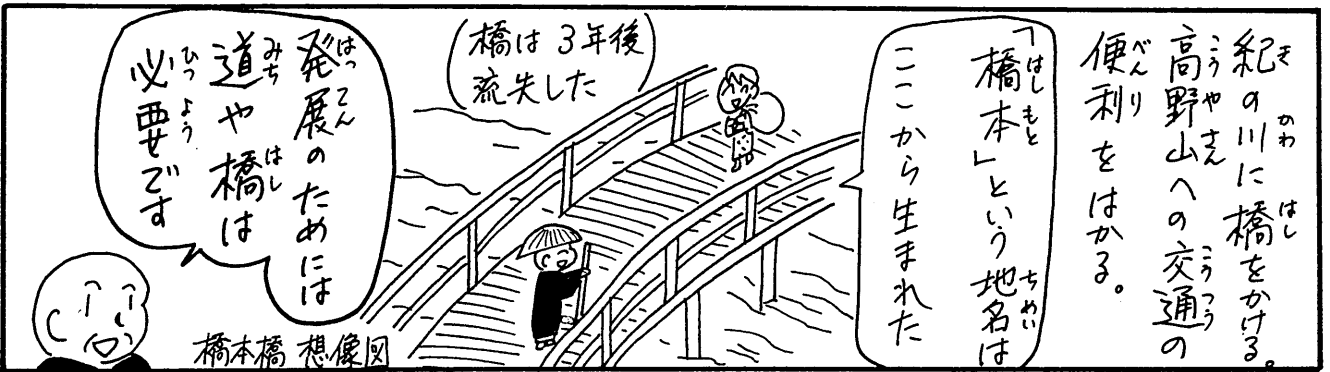
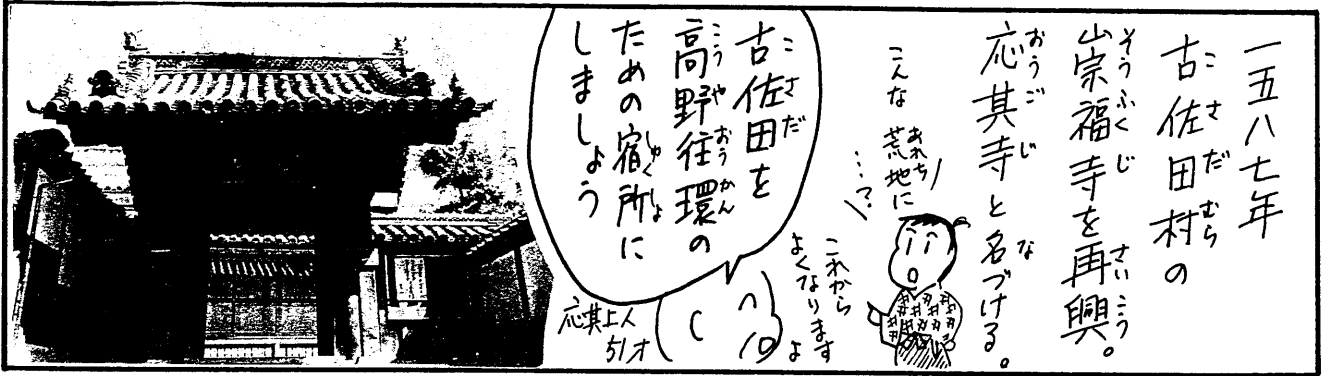
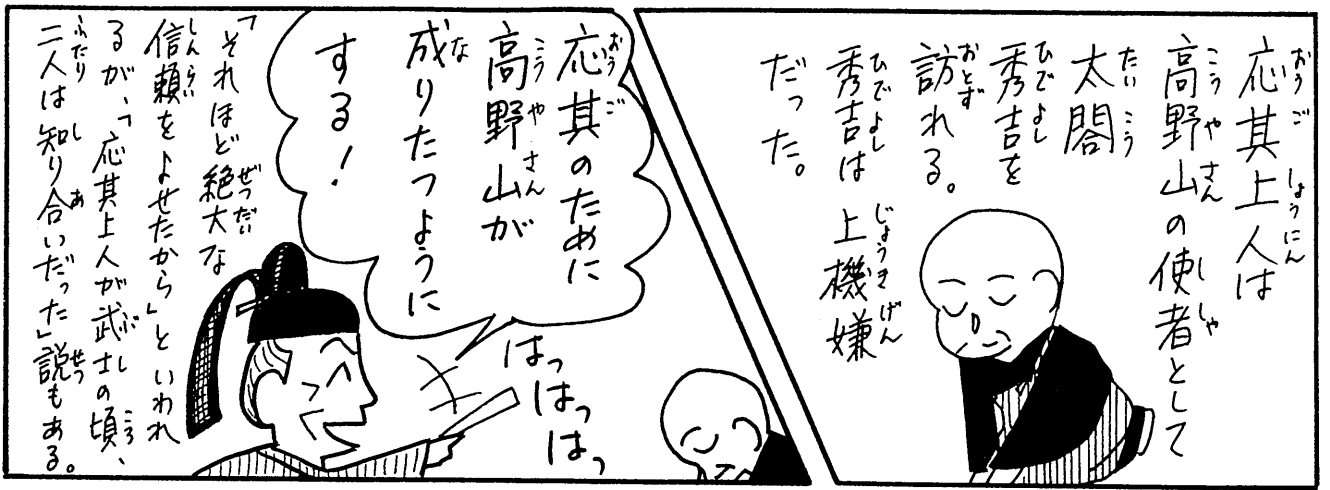
一五八五年、高野山
豊臣秀吉から
また「従え」との
書状だ！

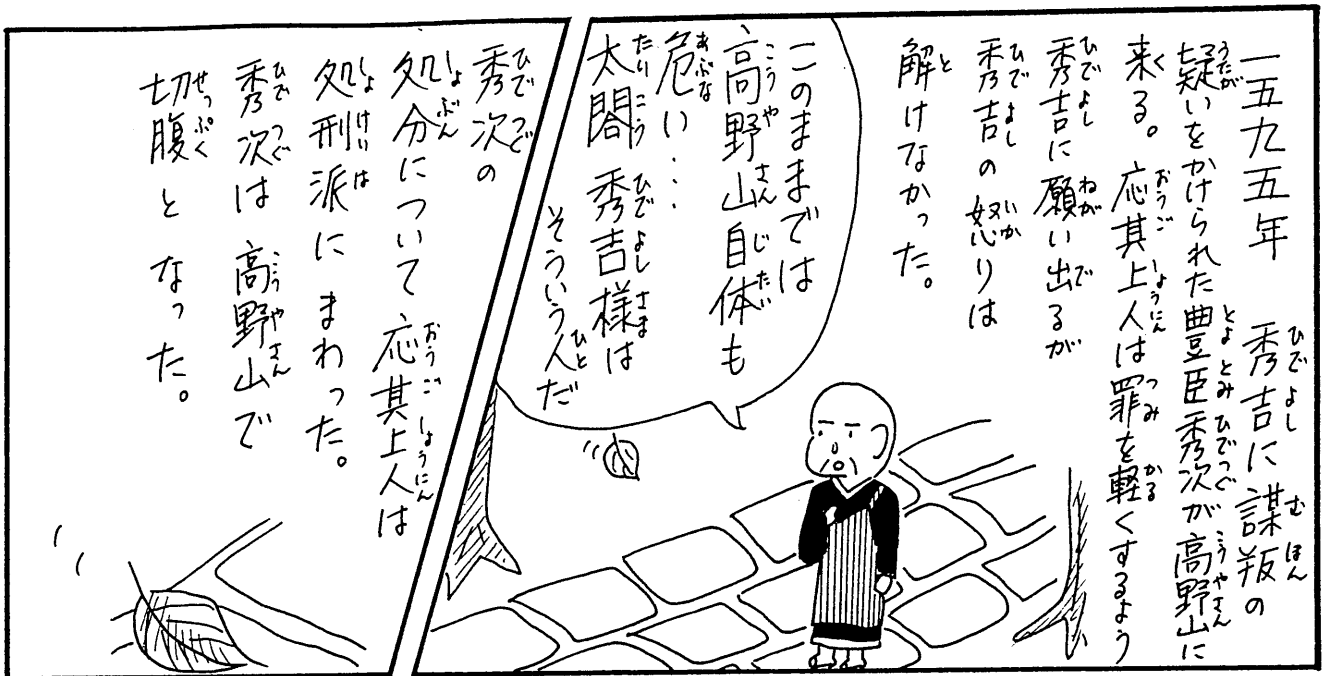


木食上人
応其上人は、出家し
た後、13年間五穀
(米、麦、アワ、マメ、
キビ) を食べずに、
木の実や野菜を食べ、
ひたすら仏教の修行
にはげんだのでそう
呼ばれた。

ここは
降伏しましょう
断れば
根来寺のように
太閤に攻められ
焼かれてしまう…
領土をへらされても
武器をとりあげられても
生き残る方を
選ぶべきです！







今も残る応其の名

一五九八年 秀吉の死去。
応其上人は大坂方の将来に
不安を感じ 身をひく。
一六〇一年 故郷 近江国(滋賀県)
飯道山にこもり

一六〇八年 亡くなったと伝えられている。
応其上人は、高野山を
秀吉の手から守り、伊都地方の
発展に尽くした。人々は、
「応其」の名を地名などにして残しました。

● 応其寺 (橋本市)
● 応其上人の記念碑 (かつらぎ
町、妙寺、畑谷池)
高さ約1.5m。正面には「興山上人」
(応其上人の別称)「天正17年」の文字。
● 応其小学校 (高野〇町)
高野〇町には「応其」という字が今
もああります。以前は「応其村」とい
う村もありました。

● 平谷池記念碑 (橋本市)

校庭には応其上人の
碑があります

私かいては
高野山にとつて
よくない...

大閤と
つながりの深かった
故郷へ
帰ろう

南馬場と清水の村人たちが応其の業績を
永遠に伝えるために建立したものです。